

SHARING ONE VISION

小倉、後続を寄せ付けず4連勝！シリーズチャンピオン獲得！ 上田は惜しくも4位入賞！

S-FJ 第4戦

7月30日(日)
ツインリンクもてぎ
4.801km



ル・ボーセモータースポーツが挑むカテゴリーのひとつ、スーパーFJのもてぎシリーズ第4戦が、7月29日(土)・30日(日)にツインリンクもてぎ(栃木県)にて開催され、小倉祥太と上田裕也が出場した。第3戦では、小倉が3連勝を飾り、上田もデビューレースながら3位を獲得。見事、二人揃って表彰台に並んだ。3連勝中の小倉は、シリーズチャンピオンの座が懸った大会となり、上田も参戦2戦目の今大会を、前回よりも上のポジションでチェッカーを受けるべく、大会に臨んだ。また、今大会は全日本F3選手権も併催されるため、練習時間がいつもより少ない中で、F3が走った後の路面コンディションの変化をいかに攻略するかも課題となった。

予選

7月30日(日)
天候/曇り
コース状況/ドライ

このレースウィークは金曜日からの走行開始で、週末は雨予報も出ていたが、土曜日まではドライコンディションが保たれ、F3走行後の路面コンディションの変化に慣れさせるためにも、セットの変更は最小限に留め練習を重ねた。

決勝日は朝こそ雨に見舞われたが予選前には止み、走行ラインも乾きつつあったため、9時25分からの予選はドライタイヤで臨んだ。コースオープンし、二人は早々にコースイン。路面の状況も確認しながら、アタックのタイミングを狙った。3周目には小倉が2分5秒632でトップに出ると、その翌週に上田が6秒671で3番手に。徐々にタイヤのグリップ感も得られ、後半へ向けペースアップが期待された5周目に赤旗にて一時中断となってしまった。約5分間の中断後、残り時間約9分で再開となったが、タイヤのフィーリングも変わってしまったため、いかに後半にタイムを詰められるかがポイントとなった。その後、9周目に小倉が5秒337でベストを更新し、上田も翌週に6秒367で2番手に上がると、これ以上のタイムを記録するライバルは現れず、小倉は4戦連続ポールポジションを獲得。上田も小倉に続き2番グリッドで決勝に挑むこととなった。

TOYOTA

Racing Development
TRD

DENSO

豊田自動織機

TPR

NPR

SYNCRONATIC
byAW

富士電機

AISIN

OTICS

NSK

UMC

TDK

ATS
ADVANCED TECHNOLOGY SYSTEM CO., LTD.

カーエース

MARUYASU

ばねの素郷

AIDO METAL

中倉スプリング

栃木トヨタ

トヨタレンタリース栃木

TRD

茨城トヨタ

茨城トヨペット

江本鉄工

MARUSAN

icode

TAMACHI

PETRONAS
SYNTIUM

FFC

ODYSSEY

ThreeBond

BILION

シーシーアイ

SEV

Sakata Designers

TAKATA

TOYOTA

LANDS'END

RAVS

道の駅もてぎ

PRIMO

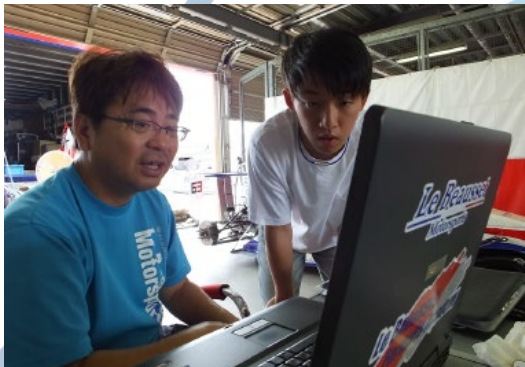
Rapport

決勝

7月30日(日)
 天候/曇り
 コース状況/ドライ

決勝のスタート進行が開始する14時40分には路面は完全に乾き、ドライコンディションで第4戦を迎えることとなった。肝心のスタートを小倉はそつなく決め、トップを保ったまま1コーナーへ。V字コーナーから徐々に後続を引き離し、1周1秒以上ずつ後続とギャップを築く展開に。一方の上田は、後続のライバルが抜群のスタートを決めたことで、1周目を5番手で通過すると、翌周にヘアピンで1台を抜き返し4番手に。ここから、2番手~5番手のグループは最終周まで一進一退の激しいバトルを見せることとなる。

後続がバトルを繰り返している間に、小倉はみるみる独走状態を築き、レースの半分となる5周目が過ぎた時点で2位と9秒近くまでギャップを広げていた。上田は変わらず一進一退のバトルで4・5番手を保つも最終周の5コーナーで1台をパスし、表彰台圏内の3番手へ浮上。後続もすぐ後ろに迫る中、そのままのポジションをキープし最終コーナーへ差し掛かると、焦りからかハーフスピン。後続に並ばれ、そのままストレートを立ち上がり、どちらが先にチェッカーを受けるか注目されたが、惜しくも4番手でレースを終えた。小倉は、安定した走りと速さで後続を17秒以上離し、前戦の宣言通り圧勝で4勝目を飾り、見事シリーズチャンピオンの座を獲得した。



豊田自動織機



SHARING ONE VISION

チーム監督
坪松唯夫
Tadao Tsubomatsu
COMMENT

小倉にとってはシリーズチャンピオンが懸る一戦だけに緊張している様子だったが、落ち着いたレース運びで、誰も寄せ付けない力強い、そして成長の証が見えた一戦だった。これからは他のサーキットに遠征して更に力を付けて貰いたい。上田は目の前に居るターゲットとなる小倉からの刺激を受けて、迫る所までは来ているが、今週は幾つかのミスが目立ってしまった。最低でも2位にはなれるレースだったので、この悔しさをバネに次のレースに臨んで貰いたい。

Driver
小倉祥太
Shota Ogura
COMMENT

予選は、後半を狙って合わせていましたが、赤旗が出て少し動揺してしまい、集中力を欠いてしまいました。何とか、後半でもベストタイムを出せたので良かったのですが、思っていたように出来なかったのが納得のいく予選ではなかったです。決勝は、今までスタートが上手いかなかったのが、スタートを決めたいと思って臨みましたが、失敗もせずできたので良かったです。レースは、強い気持ちを保ったまま10周ミスなく、集中していけました。シリーズチャンピオンが懸っていることはあまり意識せず、いつも1レース1レース集中して勝つ、という気持ちでやっていました。その結果、4戦全勝でチャンピオンを決められたので嬉しいです。

Driver
上田裕也
Yuya Ueda
COMMENT

予選は、5周目でちょうどタイヤのグリップも良くなってきて、次の周からアタックしていこうと思っていたのですが、赤旗が出てしまって、リスタートした時にはタイヤのフィーリングも変わってしまい、思うようなタイムが出せませんでした。決勝は、スタートは失敗した感じはなかったのですが、後続のスタートがすごく良くて抜かれてしまいました。前に出ても、前が詰まって上手く抜けず後ろもいるので、タイヤがけこう辛かったです。前回よりは焦りはありませんでしたが、ラストラップの最終コーナーで少し焦りが出てしまい、滑ってしまいました。全体的にタイムも良いわけではなく、悔しいレースとなりました。次戦は、反省点を改善して良いレースができるように頑張りたいと思います。

スーパーFJもてぎ選手権 第4戦 レース結果

順位	車番	ドライバー	車名	予選順位
1	62	小倉祥太	ル・ボーセフォーミュラアカデミーPFC	1
2	77	荒川 麟		6
3	7	佐藤セルゲイ・イチ		3
4	63	上田裕也	ル・ボーセフォーミュラアカデミーPFC	2

シリーズポイントランキング

順位	ドライバー	ポイント
1	小倉祥太	80
2	小林文晃	37
3	佐藤セルゲイ・イチ	34
5	上田裕也	22

TOYOTA

Racing Development
TRD

DENSO

豊田自動織機

TPR

NPR

SYNCRONATIC
byAWW

富士電機

AISIN

OTICS

NSK

UMC

TDK

IRS
ART SYSTEMS CO., LTD.

カースター

MARUYASU

ばねの素郷

AIDO METAL

中康スプリング

橋本トヨウ

トヨレンタリース橋本

TRD

茨城トヨタ

茨城トヨペット

江本鉄工

MARUSAN

icode